



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東  
 コード番号 7776 URL https://www.cellseed.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 畑中 格 TEL 03-6380-7490  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	66	△10.2	△359	—	△366	—	△363	—
2022年12月期第2四半期	74	—	△348	—	△352	—	△357	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△13.29	—
2022年12月期第2四半期	△18.54	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,045	1,682	81.1
2022年12月期	1,543	1,178	74.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,657百万円 2022年12月期 1,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200	58.2	△840	—	△840	—	△845	—	△31.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	28,385,419株	2022年12月期	24,422,619株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	155株	2022年12月期	155株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	27,380,045株	2022年12月期2Q	19,266,083株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。

一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰による物価上昇に加え、世界的な金融引締めが継続するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は66,966千円（前年同四半期比7,646千円の減少）、営業損失は359,215千円（前年同四半期比10,370千円の増加）、経常損失は366,680千円（前年同四半期比13,900千円の増加）、四半期純損失は363,958千円（前年同四半期比6,832千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託など）

細胞培養器材事業では、器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化、2023年3月開催の第22回再生医療学会総会、7月開催の日本がん免疫学会への付設展示会に当社ブースを出展するなど、器材製品の積極的な販売促進活動に取り組みました。今後も、顧客ニーズ、市場動向に合致した新製品の開発のための研究開発に注力し、新規の顧客を獲得できるよう努めてまいります。

当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、引き続き共同研究先である東海大学より先進医療にかかる自己軟骨細胞シートの製造を受託しております。第2四半期累計期間は、1症例のみの売上計上でしたが、第3四半期以降、複数症例の売上計上を見込んでおります。

また、当社は、今後、池上総合病院より自己軟骨細胞シート移植に用いる細胞シートの製造受託を予定しており、自費診療領域に用いる細胞シートの製造を受託することで受託事業の拡大を図ってまいります。

以上のような活動の結果、売上高は62,018千円（前年同四半期比8,169千円の減少）、営業損失は27,663千円（前年同四半期比12,881千円の減少）となりました。

#### ② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び同種軟骨細胞シートの細胞シート2品目の再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生上皮シートは医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）の下、2020年10月に治験届を提出後、PMDAから受けた細胞シートの製造方法に関する指摘への検討に対しても取り組みつつ、追加治験を実施しております。製造販売承認申請の時期を2025年に予定しております。

同種軟骨細胞シートは、「同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の製品化に向けたセルバンク構築を含む企業治験開始のための研究開発」について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援を受けながら開発を進めてきました。研究開発を推進した結果、企業治験に使用する同種軟骨細胞シートを製造するための原料として、有効性と安全性を確認したマスターセルバンクを確立することができ、第22回日本再生医療学会総会においてこの成果を発表いたしました。

現在国内で第3相試験（検証的試験）を開始するため、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）との相談を経て、治験届提出に向けた準備を進めております。

また、事業提携活動につきましては、昨今の同種軟骨細胞シートへの関心の高まりを踏まえ、複数の提携先候補と契約締結に向けた活動を積極的に推進しており、同種軟骨細胞シートの価値最大化のため、秘密保持契約締結下で提携先候補企業と交渉を継続しております。

以上のような活動の結果、売上高は4,947千円（前年同四半期比523千円の増加）、営業損失は235,584千円（前年同四半期比27,710千円の増加）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて546,857千円増加し、1,778,795千円となりました。これは、現金及び預金が517,120千円増加したことなどによります。

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて45,735千円減少し、266,247千円となりました。これは、投資その他の資産が42,555千円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて501,121千円増加し、2,045,042千円となりました。

## （負債）

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて4,501千円減少し、176,193千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が625千円減少したことなどによります。

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて1,557千円増加し、186,444千円となりました。これは、資産除去債務が45千円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて2,944千円減少し、362,638千円となりました。

## （純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて504,066千円増加し、1,682,404千円となりました。これは、四半期純損失を363,958千円計上した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ427,711千円増加したことなどによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて517,120千円増加し1,589,331千円となりました。当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動に使用した資金は348,386千円（前年同四半期比78,994千円の支出増）となりました。これは、税引前四半期純損失363,483千円を計上したことなどによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果獲得した資金は17,689千円（前年同四半期比32,621千円の獲得増）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出13,942千円があった一方、関係会社株式の売却による収入29,505千円などによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果獲得した資金は847,817千円（前年同四半期比242,135千円の獲得増）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入850,191千円などによるものです。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年2月14日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,072,210	1,589,331
売掛金	25,775	23,172
商品及び製品	19,757	19,765
仕掛品	836	6,351
原材料及び貯蔵品	35,573	32,804
その他	77,783	107,369
流動資産合計	1,231,937	1,778,795
固定資産		
有形固定資産	98,334	95,154
投資その他の資産	213,648	171,092
固定資産合計	311,983	266,247
資産合計	1,543,920	2,045,042
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	394	6,069
1年内返済予定の長期借入金	7,500	6,875
賞与引当金	3,384	3,797
その他	169,416	159,451
流動負債合計	180,695	176,193
固定負債		
長期借入金	151,250	147,500
資産除去債務	33,637	33,682
その他	—	5,261
固定負債合計	184,887	186,444
負債合計	365,582	362,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,467,377	1,895,088
資本剰余金	446,957	874,669
利益剰余金	△759,680	△1,123,638
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,154,427	1,645,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△321	11,922
評価・換算差額等合計	△321	11,922
新株予約権	24,232	24,589
純資産合計	1,178,338	1,682,404
負債純資産合計	1,543,920	2,045,042

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	74,612	66,966
売上原価	38,570	28,546
売上総利益	36,041	38,419
販売費及び一般管理費		
研究開発費	200,501	233,575
その他	184,384	164,059
販売費及び一般管理費合計	384,886	397,635
営業損失(△)	△348,844	△359,215
営業外収益		
受取利息	5	5
為替差益	1,986	1,279
その他	197	114
営業外収益合計	2,189	1,399
営業外費用		
支払利息	418	388
新株発行費	5,705	8,476
営業外費用合計	6,124	8,864
経常損失(△)	△352,779	△366,680
特別利益		
新株予約権戻入益	—	609
関係会社株式売却益	—	15,759
特別利益合計	—	16,369
特別損失		
減損損失	2,445	13,172
特別損失合計	2,445	13,172
税引前四半期純損失(△)	△355,225	△363,483
法人税、住民税及び事業税	1,900	475
法人税等合計	1,900	475
四半期純損失(△)	△357,125	△363,958

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△355,225	△363,483
減価償却費	3,932	3,995
減損損失	2,445	13,172
受取利息	△5	△5
支払利息	418	388
株式報酬費用	798	—
新株発行費	5,705	8,476
新株予約権戻入益	—	△609
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△15,759
売上債権の増減額 (△は増加)	2,113	2,603
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△20,689	△2,753
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	49,394	9,013
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,320	5,675
未払金の増減額 (△は減少)	△42,814	22,203
前受金の増減額 (△は減少)	30,772	△39,013
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△509	413
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	53,225	8,629
小計	△265,117	△347,054
利息の受取額	4	4
利息の支払額	△480	△388
法人税等の支払額	△3,798	△948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△269,391	△348,386
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,931	△13,942
関係会社の整理による収入	—	2,127
関係会社株式の売却による収入	—	29,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,931	17,689
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△4,375
新株予約権の行使による株式の発行による収入	604,538	850,191
新株予約権の発行による収入	1,144	2,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	605,682	847,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	321,358	517,120
現金及び現金同等物の期首残高	846,674	1,072,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,168,032	1,589,331

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第2四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ427,711千円増加しております。

以上の結果、当第2四半期会計期間末における資本金は1,895,088千円、資本剰余金は874,669千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,188	4,424	74,612	—	74,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,188	4,424	74,612	—	74,612
セグメント損失(△)	△40,545	△207,874	△248,419	△100,424	△348,844

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△100,424千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては、2,445千円であります。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,018	4,947	66,966	—	66,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,018	4,947	66,966	—	66,966
セグメント損失(△)	△27,663	△235,584	△263,248	△95,966	△359,215

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△95,966千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。  
なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては、13,172千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は1,072,210千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社は当第2四半期会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、食道再生上皮シート及び同種軟骨細胞シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。